

弘 前 大 学

國 史 研 究

第 148 号

弘前藩領の寺社門前について	篠村 正雄	1
弘前藩の「実高」についての基礎的考察	館山 誠	19
大名家在坂役人と上方銀主・その交流と交渉 ―天保飢饉時の秋田藩を通して―	金森 正也	41
〔研究ノート〕		
細谷十太夫と仙台のハリストス正教会	山下須美礼	62
〔書評と紹介〕		
八戸の歴史叢書		
『八戸藩遠山家日記』第八卷	清水翔太郎	73
『社共合同の時代』―戦後革命運動史再考―	北原かな子	76

弘 前 大 学 國 史 研 究 会

2020・3

本会機関誌『弘前大学國史研究』への投稿について
投稿規定

◎論 文 四百字詰 60枚程度を原則とする（縦書き、以下同様）

◎研究ノート 四百字詰 20枚から30枚程度

◎研究余録 四百字詰 10枚程度

◎史料紹介 四百字詰 10枚から30枚程度

◎その他（書評・研究動向・歴史随想など） 四百字詰 10枚程度

◎ワープロでの執筆に際しては、一段に付き32字×23行で組んで下さい。字数は右の規定の範囲で計算して、それを超えないようにして下さい。

◎デジタルデータによる投稿も可能です（事前に編集委員会へ御相談下さい）。行数・字数は、ワープロ執筆と同様に組んで下さい。なお、プリントアウトした原稿を添付のこと。

◎横書きを希望する時は、あらかじめ本会へご相談下さい。

◎原稿締切 一月末日と八月末日の年2回

※投稿に際しては、図表を最小限におさえ、完成原稿でお願いします。また、原稿は必ず御手元でコピーをとって保存して下さい下さい。投稿は本会会員に限ります。

※掲載については、原稿を受領後、編集委員会で審査し、一ヶ月以内に御通知します。なお、文中に掲載許可を必要とする写真・図版等を含む場合には、掲載決定後、著者の責任において権利者から許可の承諾書を取得して下さい。

※掲載分の論文等については、抜刷50部をさしあげます。

※本誌掲載の論文等を転載する場合は、本会の諒承を得て下さい。

―彙報―

◎弘前大学国史研究会第九六回例会は、左記の通り開催された。

報告者・弘前大学教育学部講師 大谷伸治氏「天皇機関説事件後の憲法学―新体制派と反体制派を分けたものは何か―」

令和元年十二月十五日

(F)

「社共合同」の時代

戦後革命運動史再考

河西英通著

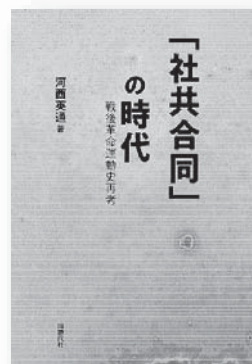
(広島大学名誉教授)

一九四八年一二月一三日、青森県で共産党と社会党が合同大会を開催し、統一革命党をめざす「社共合同」が始まった。

なぜ、青森県で？ それは戦後革命史にどう位置づけられるのか。

伊藤律、大沢久明、津川武一らが進めた

「社共合同」の実態を明らかにし、その歴史的意味を問う。



同時代社

電 03-3261-3149 FAX 03-3261-3237
〒101-0065 千代田区西神田2-7-6
<http://www.doujidaisya.co.jp>

A5 上製 584頁 定価：本体5800円＋税

令和二年三月三十日

弘前大学 國史研究 第一四八号

036-8560 弘前市文京町一番地

弘前大学人文社会科学部日本史研究室内

編集者 弘前大学 國史研究会
発行者

振替口座 〇二三〇〇一―六二四番